

みんなにとって楽しい映画祭にするために



●会場内は禁煙です。ビル内に喫煙所はありませんので、喫煙は屋外でお願いします。また、ホール内での飲食は出来ません。

●映画上映中は必ず携帯電話の電源をお切り下さい。

●写真撮影について……今の社会では、クイアであることが明らかになると不利益を受けることがあります。映画祭に来た人が安心して会場にいられるようにするため、実行委員会は個人のプライバシーを最大限尊重したいと考えます。

・記念写真は指定の場所をお願いします。それ以外の場所での撮影は出来ません。

・会場での写真撮影は、報道関係者と、記録のための実行委員会スタッフのみが行います。(必ず、腕章と、名前の分かる身分証を身につけ、個人を特定できる撮影の場合は事前に被写体本人の許可をとります)

・上記に反する形で撮影をする人がいた場合、直接ご注意くださいかお近くの実行委員までお知らせ下さい。



●いつでもどこでもトラブルは起きます。映画祭も例外じゃないよ！

いろんな考え方や立場の人が大勢集まるとトラブルは付き物。だって私たち、常に自分と違う考え方の人を意識して行動しているわけじゃないですものね。ある人には失礼に当たることを平気でやってしまうかもしれません。例えば「自分のことを女だと思っているのにあの人に男として扱われて不愉快だった」とか。気づきにくいけど、セクハラなどの性暴力は同性間だって起こります！そんな、いろんな差別や力関係に基づいたトラブルに出くわすかもしれませんってこと。

●気づきにくい力関係が、ここにもある。

例えば、日常生活でよく聞かれる、「好みの女子のタイプは？」「カレシいる？」などの質問って相手には悪気はないんですよね。でもそこで何も負い目を感じずに、「同性が好きなの」って言う人はまだ少なく、たいがい気分悪いというか、言えずに嘘をつくことになりませんか。問答無用に異性愛を押し付けられて、肩身がせまい思いをする人が居る、というお馴染みの力関係ですね。実は、そんないろんな押し付けや力関係が他にもたくさんあります。普通に暮らしててももちろんあるし、クイアな人たちが集まっている場所でも起きます。例えば、外見で勝手にその人を「女 /

男扱い」したり、「女や男以外の性別の人」やバイセクシュアル、Aセクシュアル（異性も同性も性愛の対象としない、性愛対象ってのがそもそもない人）の存在を無視したり、「女」ってことだけで、意見が通りにくかったり……他にもまだまだ。私たちは「男女という制度」の中で暮らしているがために、そこから派生する様々な差別を、自分でも知らない間にヤっちゃってることもあるわけです。気をつけていても、やってしまうことがあるんです。

●それは性に関係してない事でも、沢山ある！

考えてみると例えば、「障がい」がなくてアタリマエ、とする雰囲気や、日本人でアタリマエ、という雰囲気、年上だとか、有名人だとか、業界歴が長い、などなど、いろんな差別や力関係が、私たちの暮らしには蔓延していますね。

●あなたは「イヤだ！」と思ったら「イヤだ！」と言えます。

そんな力関係に巻き込まれた時、黙ってなくていいです。誰でも、どこでも、誰にでも、自分がされてイヤなことをされたら、相手に直接「イヤ！やめて！」と言っていていいのです。そう言う権利が誰にでも、あなたにも、あります。セクハラや性暴力を受けた時、黙ってなくていいのです。また、